



MBCテレビ毎月第1金曜日
MBC「かごよんフライデー」(15:49～)内
16:35頃放送予定

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科
の西順一郎教授にお話を伺い、2月
7日にお伝えしました。



鹿児島大学大学院医歯学総合研究科の
西順一郎教授

国保で HOT情報

「冬の感染症 解説Show2025」

今年のインフルエンザと新型コロナ ウイルスの脅威は？

インフルエンザは過去最大の流行となり、新型
コロナウイルスも増加してきています。すでに
この冬、同時流行となっており、2月以降も警
戒が必要です。



インフルエンザと新型コロナウイルスの重症化リスク

インフルエンザは、高齢者は二次性の細菌性肺炎、成人では心筋炎、乳幼児では脳症など、それぞれ重症化して死亡するケースがあります。

新型コロナウイルスは、2023年5月に5類感染症に移行してからも流行を繰り返し、過去1年間の死亡者数が3万6千人を超えました。

今年はおミクロン株XECという新しい系統も報告されており、インフルエンザより重い病気であると言えます。



感染してしまった場合はどうすればいいの？

いずれも早期診断、早期治療が大切！

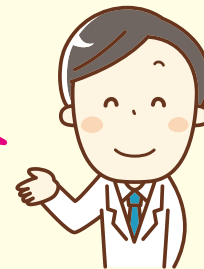
インフルエンザは全年齢で抗ウイルス薬が、新型コロナウイルスでは12歳以上から服用できる飲み薬があります。

服用することで、症状の改善が早まり、喉のウイルス量を減らすことができるため、周囲への感染を減らすことに繋がります。また、新型コロナウイルスでは、後遺症の予防にも期待されています。



予防のために大切なことは？

- 毎年のワクチン接種
- 換気やマスク着用
- 身体に少しでも異常がある場合は宴会などへの参加を控える



インフルエンザも新型コロナウイルスも流行株が以前と変わっていますので、毎年新しいワクチンを接種することが大切です。

また、どちらも近距離での空気感染が主な感染経路です。換気やマスク着用といった日常的な予防を徹底し、身体に少しでも異常を感じたら宴会などへの参加は控えましょう。

